

TMNet WinConfig Ver.3

ユーザーズガイド

M00003602

Rev. C

- ご注意
1. 本書の内容の一部又は全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
 2. 本書の内容については、予告無しに変更することがあります。最新の情報についてはお問い合わせ下さい。
 3. 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡下さい。
 4. 運用した結果の影響については、上項に関わらず責任を負いかねますのでご了承下さい。
 5. 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセイコーエプソン（株）およびセイコーエプソン（株）指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた障害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承下さい。

商標について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows 7は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Copyright(C) SEIKO EPSON CORPORATION 2008-2009. All rights reserved.

目次

<u>1. 特徴</u>	4
<u>2. サポート OS</u>	4
<u>3. サポート機種</u>	4
<u>4. ネットワーク I/F の設定方法</u>	4
<u>5. パスワードの設定</u>	6
<u>6. 設定画面の詳細</u>	7
6. 1 オープニング画面	7
6. 2 メニューバー	8
6. 2. 1 [タイムアウト設定]	8
6. 2. 2 [検索方法]	9
6. 2. 3 [検索オプション]	10
6. 3 [プリンター]画面	13
6. 4 [プリントサーバー]画面	15
6. 5 [TCP/IP]画面	16
6. 6 [無線]画面	18
6. 6. 1 [無線詳細設定]画面	20
<u>7. トラブルシューティング</u>	22

1. 特徴

本ユーティリティーを用いることで、TM プリンターシリーズの Ethernet 機器のネットワークパラメーターを設定することが出来ます。

TMNet WinConfig Ver.1.00 と Ver.2.00 の機能とサポート機種を統合しました。

2. サポート OS

Microsoft Windows Server 2008 R2 (64bit)

Microsoft Windows Server 2008 SP2 (32bit / 64bit)

Microsoft Windows Server 2003 R2 SP2 (32bit / 64bit)

Microsoft Windows 7 (32bit / 64bit)

Microsoft Windows Vista SP2 (32bit / 64bit)

Microsoft Windows XP Professional SP3 (32bit / 64bit)

Microsoft Windows 2000 Professional SP4

3. サポート機種

UB-E01 / UB-E02 / UB-E02A / UB-R02 / UB-R02A / UB-R03 / UB-R03A が装着できる TM プリンターシリーズ、および、TM-C3400 / TM-P60

4. ネットワーク I/F の設定方法

TMNet WinConfig を使って、ネットワークインターフェイス（以下、I/F）を設定する手順を説明します。

1. 画面左側のツリービューでデバイスと接続している I/F を選択します。

2. 画面右のリストビューで設定するネットワーク I/F を選択します。

参考：

■モデル名が表示されない場合は…

ネットワーク I/F の IP アドレスが工場出荷時の設定（192.168.192.168）のままになっていると、モデル名が表示されないことがあります。この場合は、MAC アドレスで判別します。MAC アドレスは、TM プリンターをご使用の場合はネットワークステータスシートで確認できます。

製品の仕様上、この IP アドレスはネットワーク上で使用できません。お使いの環境に合わせ、必ず IP アドレスを変更してください。

■同一モデルのデバイスを区別して選択したい場合は…

同一モデルのデバイスが複数台あるときは、MAC アドレスで判別します。MAC アドレスは、TM プリンターをご使用の場合はネットワークステータスシートで確認できます。

■ローカルネットワーク外にあるデバイスを表示したい場合は…

お使いのコンピューターのローカルネットワーク外にあるプリンターは、[ツール] -[検索オプション]- [IP] で設定すると表示されます。

→6.2.3 [検索オプション]を参照

■デバイスが表示されない場合は…

デバイスが表示されない場合は、デバイスの電源が入っているか、コンピューターと同一セグメントにデバイスがあるかを確認してください。

3. [設定開始] ボタンをクリックします。

または、設定するネットワーク I/F をダブルクリックします。

4. [ネットワーク I/F のプロパティ] 画面で、設定するプロトコルのタブをクリックします。

お使いの環境に合わせて、ネットワーク I/F を設定します。各プロトコル画面の設定方法については以下を参照してください。

[ロケーション設定] 6. 3 [プリンタ]画面へ

[管理者名]設定、[工場出荷時の状態に戻す] 6. 4 [プリントサーバ]画面へ

[TCP/IP]設定 6. 5 [TCP/IP]画面へ

[無線]設定 6. 6 [無線]画面へ

5. 各プロトコル画面で必要な項目を設定したら、[OK] ボタンをクリックします。

6. 表示された画面で、[OK] ボタンをクリックします。

7. パスワード入力画面が表示されます。

工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

- ・パスワードを設定しない場合は、何も入力せずに [OK] ボタンをクリックしてください。設定が送信されます。
- ・パスワードを設定する場合は、[5. パスワードの設定]を参照してください。

参考：

「設定は正常に更新されました。」というメッセージが表示されるまではネットワーク I/F に情報を送っています。デバイスの電源をオフにしたり、データをデバイスに送ったりしないでください。

8. 設定が有効になるまで最大3分かかります。

その間はデバイスの電源をオフにしないでください。3 分ほどしたら、[表示] メニューの [最新の情報に更新] をクリックして、設定値を確認してください。

これでネットワーク I/F の設定は終了です。

参考：

各プロトコルの設定が終了したら、設定したアドレスをメモしておくことをお勧めします。

5. パスワードの設定

パスワードは、ネットワーク I/F の設定を保護するためのものです。各設定画面で [OK] ボタンやプリントサーバ画面で [工場出荷時の状態に戻す] をクリックすると、[パスワード] 画面が表示されます。

1. はじめてパスワードを設定する場合や、パスワードを変更する場合は、[変更] ボタンをクリックします。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も登録されていません。
2. 各パスワードを半角英数 32 文字以内で入力して、[OK] をクリックします。大文字・小文字は区別されます。
3. 手順 1 の [パスワード] 画面で [現在のパスワード] を入力して、[OK] ボタンをクリックします。新しいパスワードは、設定送信した後に有効になります。

これでパスワードの設定は終了です。

参考：

パスワードを忘れてしまった場合は、ネットワーク I/F を工場出荷時の設定に戻す必要があります。

6. 設定画面の詳細

各画面ごとの機能の詳細を説明します。

6. 1 オープニング画面

オープニング画面の詳細を説明します。



項目	説明
ツリービュー	[Ethernet]、[Wireless]、[USB] (*1)をクリックして選択すると、ネットワークまたはローカルに接続されたネットワーク I/F 情報が表示されます。
項目名	[IP アドレス]や[MAC アドレス]などの項目名をクリックすると、クリックした項目を基にリストを並べ替えることができます。 また、項目名ボタンの境界をドラッグすると、各項目の表示領域サイズが調整できます。
リストビュー	ツリービューで選択されているインターフェイスの、ネットワーク I/F の情報が表示されます。設定するネットワーク I/F をダブルクリックするか、またはネットワーク I/F を選択して[設定開始]をクリックしてください。
[検索]ボタン	ネットワーク I/F の再検索がされ、リストビューの表示が最新の情報に更新されます。
[ブラウザの起動]ボタン	IP アドレスが初期値以外に設定されている場合に、ネットワーク I/F を選択して、ボタンをクリックすると TMNet WebConfig を起動できます。通常は使用する必要はありません。
[設定開始]ボタン	クリックすると、[ネットワーク I/F のプロパティ] 画面が表示され、ネットワーク I/F の詳細設定が行えます。

(※1) 設定により[COM]の選択も可能

6. 2 メニューバー

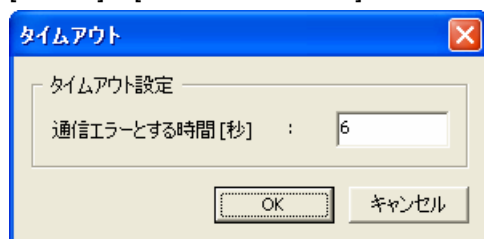
メニューバーの詳細を説明します。

項目	説明	
[デバイス]	[設定]	選択したネットワーク I/F の設定画面が表示されます。
	[ブラウザの起動]	IP アドレスが初期値以外に設定されている場合、ここから TMNet WebConfig を起動できます。通常は使用する必要はありません。
	[アプリケーションの終了]	TMNet WinConfig が終了します。
[表示]	[最新の情報に更新]	ネットワーク I/F の再検索が行われ、リストビューの表示が最新の情報に更新されます。
[ツール]	[タイムアウト設定]	[タイムアウト]画面を表示し、タイムアウトの設定を行います。 →6.2.1[タイムアウト設定]を参照
	[検索方法]	[検索方法]画面を表示して、検索方法の設定を行います。 →6.2.2[検索方法]を参照
	[検索オプション]	TCP/IP、COM の[検索オプション]画面を表示して、検索オプションの設定を行います。 →6.2.3[検索オプション]を参照
[ヘルプ]	[バージョン情報]	バージョン情報と著作権情報が表示されます。

6. 2. 1 [タイムアウト設定]

画面の表示方法

[ツール] – [タイムアウト設定]



ネットワーク I/F とデータを送受信する際のタイムアウト時間を設定します。

設定した時間を超えた場合は、通信エラーになります。

[タイムアウト]画面の説明は以下の通りです。

項目	説明
通信エラーとする時間	通信エラーとするまでのタイムアウト時間を、6～120 秒の間で設定します。初期値は6秒です。通常は変更する必要はありません。 [ツール]-[検索オプション]で、他のセグメントを探索するよう設定した結果、通信エラーが表示された場合は、タイムアウト時間を長めに設定してください。 タイムアウト時間を長くすると、検索に時間がかかります。
[OK]ボタン	クリックすると、設定が保存されます。
[キャンセル]ボタン	クリックすると、設定が取り消されます。

6. 2. 2 [検索方法]

画面の表示方法

[ツール] – [検索方法]



ネットワーク I/F の探索で使用するプロトコルを選択できます。

[検索方法]画面の説明は以下の通りです。

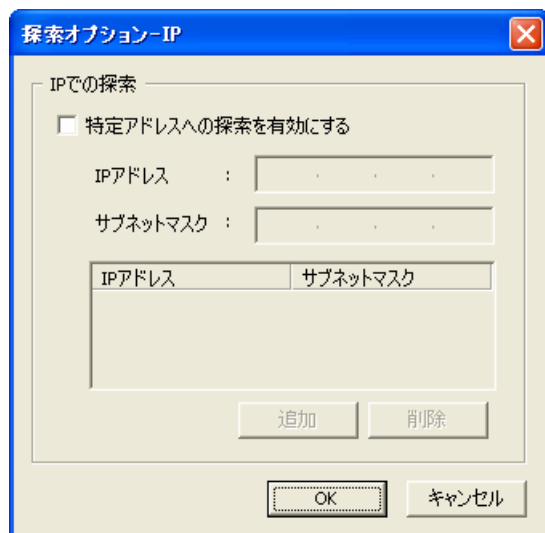
項目	説明
検索方法設定	ネットワーク I/F の探索方法を設定します。 選択したプロトコルを使用して、ネットワーク I/F を探索します。
[OK]ボタン	クリックすると、設定が保存されます。
[キャンセル]ボタン	クリックすると、設定が取り消されます。

6. 2. 3 [検索オプション]

6. 2. 3. 1 [検索オプション-IP]

画面の表示方法

[ツール] - [検索オプション] - [IP]



ローカルネットワークの外にある、TCP/IP で管理されているネットワーク I/F を探索できます。
特定のネットワークアドレスを設定すると、設定したセグメント内のネットワーク I/F が探索されます。
ここで設定し、保存した値は、[表示] メニューの [最新の情報に更新] を実行するか、TMNet WinConfig を再起動したときに有効になります。
[検索オプション-IP]画面の説明は以下の通りです。

項目	説明
特定アドレスへの検索を有効にする	ローカルネットワーク外（ルーターを越えたところ）のネットワーク I/F を探索する場合にチェックします。 他セグメントのネットワーク I/F を設定しないときはチェックしないでください。 探索に時間がかかります。
IP アドレス	探索したいセグメントのネットワークアドレスを入力します。 ホスト部のビットをすべて 0 にしたアドレスを入力してください。 入力例： 探索するセグメントのサブネットマスクが 255.255.255.0（クラス C）、ネットワーク I/F の IP アドレスが 192.168.0.5 のときは、IP アドレスには 192.168.0.0 と入力します。 ホスト部のすべてのビットが 0 でないアドレスを追加しようとする、以下のようなメッセージが表示されます。 例：「192.168.0.5 と入力されたネットワークアドレスは、192.168.0.0 で追加されます。このアドレスを追加しますか？」 [OK]ボタンをクリックすると、ホスト部のビットをすべて 0 に修正したアドレスが追加されます。 ホスト部のビットをすべて 0 にして、同一となるアドレスがすでに登録されている場合は、以下のメッセージが表示され、追加されません。 例：「192.168.0.5 と入力されたネットワークアドレスは、192.168.0.0 で追加されます。このアドレスはすでに登録済みです。」
サブネットマスク	探索したいセグメントのサブネットマスクを入力します。
検索アドレス一覧	[追加]ボタンをクリックすると、入力した IP アドレスとサブネットマスクがここに表示されます。
[追加]ボタン	IP アドレスとサブネットマスクを入力してクリックすると登録され、[検索アドレス一覧]に表示されます。最大 20 個まで登録できます。
[削除]ボタン	探索アドレス一覧から使わなくなったアドレスを選択してクリックすると、アドレスを削除します。
[OK]ボタン	クリックすると、設定が保存されます。
[キャンセル]ボタン	クリックすると、設定が取り消されます。

6. 2. 3. 2 [検索オプション-COM]

画面の表示方法

[ツール] - [検索オプション] - [COM]



COM で管理されているネットワーク I/F を探索できます。

特定の COM ポートを設定すると、COM ポートの I/F を経由してコンピューターに接続しているネットワーク I/F が探索されます。ここで設定し、保存した値は、[表示] メニューの [最新の情報に更新] を実行するか、TMNet WinConfig を再起動したときに有効になります。

[検索オプション-COM]画面の説明は以下の通りです。

項目	説明
ポート	検索に使用する COM ポートを選択します。 存在するポートのみが表示されます。
通信速度(bps)	選択した COM ポートの通信速度を選択します。
パリティ	パリティを[なし]、[奇数]、[偶数]の中から選択します。
フロー制御	フロー制御を[なし]、[RTS/CTS]、[DRT/DSR]の中から選択します。
[OK]ボタン	クリックすると、設定が保存されます。
[キャンセル]ボタン	クリックすると、設定が取り消されます。

6. 3 [プリンター] 画面

画面の表示方法

[デバイス] – [設定] – [プリンター]

ネットワーク I/F のプロパティ

プリンター | プrintサーバー | TCP/IP |

プリンター情報

ロケーション:

モデル名:

機種ID : 32

プリンター種別 : 2

ROMバージョン : 98

OK キャンセル

ネットワーク I/F が装着または接続されているプリンターの各種情報が表示されます。
[プリンター] 画面の説明は以下の通りです。

項目	説明
[ロケーション]入力ボックス	プリンターの設置場所など、プリンターを特定するための情報を入力します。 0～255 文字までの ASCII 文字列を入力します。 設定可能な文字数は使用しているネットワーク I/F によって異なります。
モデル名	ネットワーク I/F が接続されているプリンターの型番が表示されます。 お使いのネットワーク I/F が設定に対応していない場合、この項目はグレー表示され、設定できません。 0～128 文字までの ASCII 文字列を入力します。 設定可能な文字数は使用しているネットワーク I/F によって異なります。
機種 ID	プリンターの機種 ID が 10 進表記で表示されます。 お使いのネットワーク I/F が設定に対応していない場合、この項目は表示されません。

項目	説明
プリンター種別	プリンターの種別 ID が 10 進表記で表示されます。 お使いのネットワーク I/F が設定に対応していない場合、この項目は表示されません。
ROM バージョン	プリンターの ROM バージョン ID が 10 進表記で表示されます。 お使いのネットワーク I/F が設定に対応していない場合、この項目は表示されません。
[OK]ボタン	クリックすると、設定が保存されます。パスワードの入力が必要です。
[キャンセル]ボタン	クリックすると、設定が取り消されます。

6. 4 [プリントサーバー] 画面

画面の表示方法

[デバイス] – [設定] – [プリントサーバー]

ネットワーク I/F のプロパティ

プリンター | プrintサーバー | TCP/IP | 無線

プリントサーバー情報

管理者名

MACアドレス : 000000000001

ハードウェアバージョン : 0.20

ソフトウェアバージョン : 2.00

工場出荷時の状態に戻す

無線情報

通信規格 : IEEE802.11b

通信モード : インフラストラクチャー

SSID : EpsonNetIBSS

チャンネル : 11

送信速度 : 11 Mb

接続先アクセスポイント (MACアドレス) : 00000000000A

電波状態

最新の情報に更新

OK キャンセル

ネットワーク I/F の各種情報が表示されます。

ネットワーク I/F が有線モデルの場合、[無線情報] は表示されません。

[プリントサーバー] 画面の説明は以下の通りです。

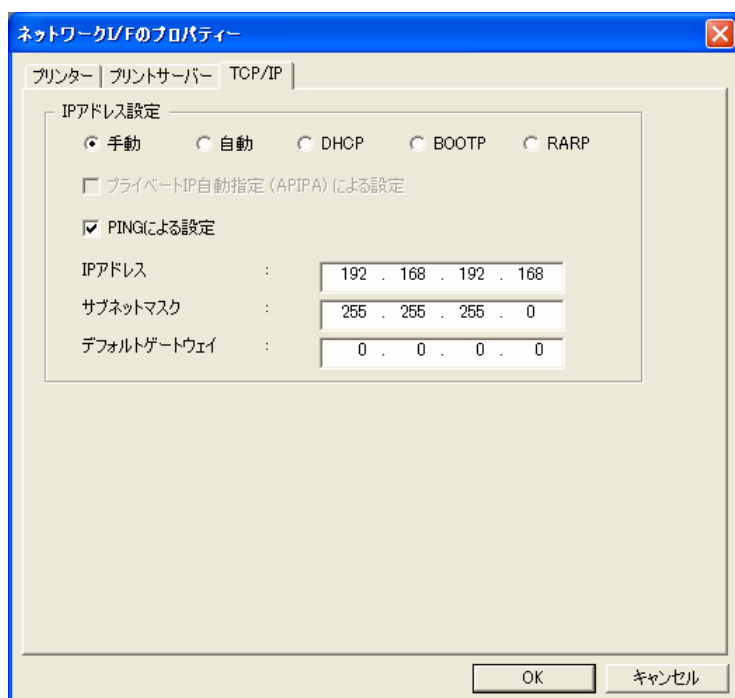
項目	説明
管理者名	プリンターの管理者名を入力します。 お使いのネットワーク I/F が設定に対応していない場合、この項目はグレー表示され、設定できません。 0～255 文字までの ASCII 文字列を入力します。 設定可能な文字数は使用しているネットワーク I/F によって異なります。
MAC アドレス	ネットワーク I/F の MAC アドレスが表示されます。
ハードウェアバージョン	ネットワーク I/F のハードウェアバージョンが表示されます。
ソフトウェアバージョン	ネットワーク I/F のソフトウェアバージョンが表示されます。
[工場出荷時の状態に戻す]ボタン	ネットワーク I/F を工場出荷時の状態に戻します。パスワードの入力が必要です。
通信規格	無線 LAN の通信規格が表示されます。

項目	説明
通信モード	無線 LAN の現在の通信モードが表示されます。
SSID	ネットワーク I/F が所属している無線 LAN の SSID が表示されます。
チャンネル	無線 LAN で使用しているチャンネルが表示されます。
送信速度	無線 LAN の送信速度が表示されます。
接続先アクセスポイント (MAC アドレス)	無線 LAN が接続しているアクセスポイントの MAC アドレスが表示されます。
電波状態	現在の電波の状態が表示されます。電波の状態と通信レベルを、立っているアンテナの数で判断できます。通信できない場合は、アンテナは表示されません。
[最新の情報に更新]ボタン	ネットワーク I/F に無線通信の状態を問い合わせ、最新の情報に更新します。
[OK]ボタン	クリックすると、設定が保存されます。パスワードの入力が必要です。
[キャンセル]ボタン	クリックすると、設定が取り消されます。

6. 5 [TCP/IP]画面

画面の表示方法

[デバイス] – [設定] – [TCP/IP]



ネットワーク I/F の TCP/IP 情報を設定します。

[TCP/IP] 画面の説明は以下の通りです。

項目	説明
IP アドレスの設定方法	IP アドレスの設定方法を選択します。ネットワーク I/F の機種によって、選択できる項目が異なります。 [自動]を選択すると、デバイスの電源を入れるたびにネットワーク I/F に割り振られる IP アドレスが変更されます。ダイナミック DNS 対応の DHCP サーバーがない環境で、TCP/IP を使用する場合は、[手動]を選択して IP アドレスを設定することをお勧めします。 DHCP、BOOTP、RARP が表示されない場合、自動を選択すると、サーバーの種類を自動判別して各種アドレスを取得します。
プライベート IP 自動指定 (APIPA)による設定	このチェックボックスがチェックされていると、DHCP サーバーが存在しない場合や応答がないときに、IP アドレスが APIPA (Automatic Private IP Addressing) によって自動設定されます。169.254.0.1～169.254.255.254 の範囲で設定されます。[IP アドレスの設定方法] が [手動] の場合、またはお使いのネットワーク I/F が APIPA に対応していない場合、この項目は選択できません。
PING による設定	IP アドレスを ARP/PING コマンドから設定する場合に、チェックをつけます。
IP アドレス	IP アドレスを入力します。他のネットワーク機器やコンピューターですでに使用されているアドレスと重複しないようにしてください。 工場出荷時、IP アドレスは[192.168.192.168]に設定されていますが、製品の仕様上、このアドレスはネットワーク上で使用できません。 お使いの環境に合わせ必ず IP アドレスを変更してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを入力します。ゲートウェイになるサーバーやルーターがある場合は、サーバーやルーターの IP アドレスを入力します。
[OK]ボタン	クリックすると、設定が保存されます。パスワードの入力が必要です。
[キャンセル]ボタン	クリックすると、設定が取り消されます。

6. 6 [無線] 画面

画面の表示方法

[デバイス] – [設定] – [無線]

ネットワーク I/F のプロパティ

プリンター | プリントサーバー | TCP/IP | 無線

基本設定

通信モード : ☐ アドホック ☒ インフラストラクチャー

SSID : EpsonNetIBSS

チャンネル : 11

セキュリティ設定

☐ 設定なし

☐ WEPを使用する

WEP設定

☐ 16進数で入力する

使用するWEPキー: WEPキー 1:

WEPキー長: WEPキー 2:

WEPキー 3:

WEPキー 4:

☒ WPA/WPA2を使用する

WPA/WPA2 設定

PSK(事前共有キー) :

詳細設定...

OK キャンセル

ネットワーク I/F の無線情報を設定します。

ネットワーク I/F が有線モデルの場合、この画面は表示されません。

[無線]画面の説明は以下の通りです。

項目	説明
通信モード	無線 LAN の通信モードを選択します。
SSID	接続する無線 LAN グループの SSID を入力します。初期値は[EpsonNetIBSS]ですが、接続する無線 LAN グループの ESS ID または SSID に合わせて必ず変更してください。 入力できる文字数は ASCII で 1～32 文字です。 この SSID は、ESS ID と SSID の総称です。接続する無線 LAN グループがインフラストラクチャーモードの場合は、アクセスポイントの ESS ID を指定してください。
チャンネル	アドホックモードで使用する場合のみ、設定が可能です。接続する無線 LAN のチャンネル設定に合わせてください。
設定なし	セキュリティ設定を行わない場合にチェックします。
WEP を使用する	WEP キーを使って暗号化する場合にチェックします。

項目	説明
16 進数で入力する	WEP キーを 16 進で入力する場合にチェックします。 デフォルトは ASCII での入力になります。
使用する WEP キー	WEP キーを複数設定している場合は、使用する WEP キーをここで選択します。
WEP キー長	WEP キーの長さ(暗号化強度)を設定します。
WEP キー1~4	WEP キーを入力します。接続する無線 LAN グループで使用している WEP キーに合わせて入力してください。 入力する桁数や文字数は、[WEP キー長]と [16 進数で入力する] の設定内容によって以下のように異なります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ WEP キー長が 64bit (40bit) の場合、10 桁 (16 進数) または 5 文字 (ASCII)。 ・ WEP キー長が 128bit (104bit) を選択した場合、26 桁 (16 進数) または 13 文字 (ASCII)。 WEP キーは設定後、非表示になります。使用するキーを忘れないようにしてください。
WPA/WPA2 を使用する	WPA/WPA2 で事前共有キー (パスワード) を使って暗号化する場合にチェックします。 お使いのネットワーク I/F が設定に対応していない場合、この項目はグレー表示され、設定できません。
PAK(事前共有キー)	WPA/WPA2 で使用する事前共有キー (パスワード) を入力します。入力できる文字数は ASCII で 8~63 文字です。
[詳細設定ボタン]	クリックすると [詳細設定]画面が表示され、無線 LAN の詳細設定が行えます。 通常は、設定を変更する必要はありません。通信状態を改善する必要がある場合に、設定を変更してください。 →6.6.1[無線詳細設定]画面 を参照
[OK]ボタン	クリックすると、設定が保存されます。パスワードの入力が必要です。
[キャンセル]ボタン	クリックすると、設定が取り消されます。

6. 6. 1 【無線詳細設定】 画面

画面の表示方法

[無線]画面 - [詳細設定]

無線詳細設定

詳細設定

送信速度 : 自動

認証方式 : ☒ Open System
☐ Shared Key

パワーマネジメント設定

☐ パワーマネジメント処理を有効にする

隠れ端末しきい値設定

☒ 隠れ端末処理を有効にする

隠れ端末しきい値 (0-2347) : 512

ローミング設定

☐ ローミング処理を有効にする

アクセスポイント密度 : High

フラグメントしきい値設定

☐ フラグメントしきい値処理を有効にする

フラグメントしきい値 (256-2346) : 2346

OK キャンセル

ネットワーク I/F の無線 LAN の詳細設定を行います。

お使いのネットワーク I/F が設定に対応していない場合、項目はグレー表示され、設定できません。

項目	説明
送信速度	通常は [自動] のままにしておいてください。状況に応じて最も高速な速度で通信します。また、通信環境が劣化し、現在の通信速度での通信ができなくなった場合は、通信速度を下げて無線 LAN 通信を維持します。 何らかの理由で通信速度を固定する場合は、1Mbps、2Mbps、5.5Mbps、11Mbps の中から選択できます。
認証方式	6.6 [無線]画面で[WEP を使用する]がチェックされている場合は [Shared Key]、チェックされていない場合は [Open System] になります。 設定を変更することは可能です。初期設定が無線 LAN の設定に合わない場合は変更してください。
パワーマネジメント処理を有効にする	無線 LAN カードのパワーマネジメント機能を有効にする場合は、チェックを付けます。有効にすると、バッテリーの使用可能時間が長くなります。

項目	説明
隠れ端末処理を有効にする	初期設定ではチェックされており、[隠れ端末しきい値] で設定されているしきい値以上のデータを送信する場合に、隠れ端末処理が有効になります。これによりデータ送信前に無線 LAN 回線が確保され、他の無線 LAN とお互いに妨害しあうことによる、通信速度の低下を緩和します。
隠れ端末しきい値 (0-2347)	ここで設定するしきい値以上のデータを送信する場合、送信する前に無線 LAN 回線を確保します。隠れ端末による妨害があまりない場合は、この値を大きく設定すると無線 LAN のパフォーマンスが向上します。初期値は、使用するネットワーク I/F により異なります。単位は byte です。0 に設定すると、データ送信前に必ず無線 LAN 回線を確保します。 最適なしきい値は、無線 LAN の配置などによって異なります。無線 LAN のパフォーマンスを確認しながら変更してください。
ローミング処理を有効にする	チェックが付いていると、デバイスを移動しているときの複数アクセスポイント間での接続切り替え（ローミング）が有効になります。
アクセスポイント密度	アクセスポイントの設置間隔が狭く、アクセスポイントが頻繁に切り換わってしまう場合は、[Medium]や[High] に設定してください。雑音や妨害が入りにくなり、頻繁な切り換えが起こらなくなります。
フラグメントしきい値を有効にする	通信環境が劣化し、データが相手側の無線 LAN まで正しく送信されなかった場合は、データが再送信されます。再送信が頻発すると、無線 LAN のパフォーマンスが低下することがあります。このチェックボックスをチェックすると、データを [フラグメントしきい値] で設定されているサイズに分割し、分割したサイズ（フレーム）毎に再送信を行うことができます（フラグメント処理）。通信条件が悪い環境でも、無線 LAN のパフォーマンスの低下を緩和することができます。 チェックを外すと、データフレームを分割せず、そのまま通信します。
フラグメントしきい値 (256-2346)	フラグメントしきい値 データフレームの分割サイズを設定します。初期値は 2346 で、単位は byte です。
[OK]ボタン	クリックすると、設定が保存されます。
[キャンセル]ボタン	クリックすると、設定が取り消されます。

7. トラブルシューティング

ネットワーク I/F を設定できない、またはネットワーク上で使用できない

処置 1)

ネットワークステータスシートが印刷できるかどうか確認してください。

ステータスシートの印刷ができる場合は、ステータスシートに印刷されたネットワークの設定に誤りがないか確認してください。

処置 2)

ハブ、ケーブルなどが正常か確認してください。まずハブを見て、デバイスが接続されているポートのリンクランプが点灯/点滅しているか確認してください。

リンクランプが消灯している場合は、次のことを確認してください。

- ・他のポートに接続して、リンクランプが点灯 / 点滅するかどうか
- ・ほかのハブに接続してみる
- ・LAN ケーブルを交換してみる

以上を確認しても通信ができないときは、ネットワーク I/F が故障している可能性があります。デバイスの取扱説明書を参照してください。

処置 3)

TCP/IP で使用している場合は、IP アドレスがお使いの環境で有効な値に設定されているかご確認ください。初期値は [192.168.192.168] ですが、製品の仕様上、このアドレスはネットワーク上で使用できません。お使いの環境に合わせて、必ずアドレスを変更してください。

処置 4)

[Windows セキュリティの重要な警告] 画面や市販のセキュリティーソフトが表示した画面で、[ブロックする] や [遮断する] を選択しなかったか確認してください。

[ブロックする] や [遮断する] を選択すると、通信ができなくなります。通信を可能にするには Windows ファイアウォールや市販のセキュリティーソフトで、例外のアプリケーションとして本ソフトウェアを登録してください。

市販のセキュリティーソフトの中には、以上の作業をしても通信できないことがあります。そのときは、市販のセキュリティーソフトで通信をブロックしたり遮断したりする設定をはずすか、セキュリティーソフトを一旦終了してから、本ソフトウェアを使用してみてください。

この場合、リスクが伴うことに注意してください。ネットワーク I/F の設定を終了したら、セキュリティーソフトを必ず有効にしてください。

設定する IP アドレスが分からない

IP アドレスは、外部との接続（インターネットへの接続、電子メールなど）をするときには、JPNIC（<http://www.nic.ad.jp>）に申請して正式に取得する必要があります。システム管理者へご相談ください。

IP アドレスを使用するにあたって、外部との接続を将来的にも一切しないという条件のもとに、下記の範囲のプライベートアドレスを使用することもできます（RFC1918 で規定されています）。

プライベートアドレス

10.0.0.1 ～ 10.255.255.254

172.16.0.1 ～ 172.31.255.254

192.168.0.1 ～ 192.168.255.254

ただし、192.168.192.168 のアドレスは製品の仕様上、ネットワーク上で使用できません。

オープニング画面で、[モデル名] に何も表示されず、[IP アドレス] に [NONE] と表示される

処置 1)

ネットワーク I/F の IP アドレスが工場出荷時の場合、[モデル名] と [IP アドレス] が表示されないことがありますが、ネットワーク I/F は設定できます。この場合は、MAC アドレスで判別します。MAC アドレスは、プリンターをお使いの場合はネットワークステータスシートで確認してください。

IP アドレスは、ネットワーク I/F の設定をすると、正しく表示されるようになります。

処置 2)

[表示] メニューの [最新の状態に更新] を実行してください。

関連項目：[最新の情報に更新]

処置 3)

[ツール] メニューの [タイムアウト設定] で、タイムアウト時間を大きい値に設定してください。ただし、タイムアウト時間を大きい値にするほど、TMNet WinConfig の動作が遅くなる（探索に時間がかかる）ため注意してください。

関連項目：[タイムアウト設定]

IP アドレスを変更していないのに、IP アドレスが変わってしまう（設定した IP アドレスが変わってしまう）

処置 1)

TMNet WinConfig の [TCP/IP] 画面で、[IP アドレスの設定方法] を [手動] にし、IP アドレスを手動で入力してください。

処置 2)

ダイナミック DNS に対応していない DHCP サーバーをお使いの環境で、[IP アドレスの設定方法] を [自動] に設定する場合は、プリンターの電源を入れる順番を決めていただくか、電源を常時オンにしておいてください。

TMNet WinConfig の起動に時間がかかる

コンピュータに Novell クライアントサービスなどをインストールしている場合や、Microsoft 社製 NetWare クライアントをインストールしている場合、ダイヤルアップネットワークに IPX を使用するため、TMNet WinConfig の動作が遅くなることがあります。

これらが必要でない場合は、使用しない設定にしてください。

無線通信できない（無線プリントサーバーがリストビューに表示されない）

処置 1)

無線プリントサーバーの電源が入っていることを確認してください。

処置 2)

無線プリントサーバーとプリンターの接続を確認してください。

処置 3)

無線通信の SSID、認証方式、WEP などの設定が、接続する無線 LAN と同じ設定になっていることを確認してください。

処置 4)

通信環境（他の無線機器による電波の干渉、端末間の距離が離れすぎていないか、電波を妨げるものがないかなど）を確認してください。

入力した WEP、WPA/WPA2 キーが表示されない

セキュリティの観点から、入力したセキュリティキーは画面上に表示されないようになっています。入力したキーを忘れないようにしてください。

アドホックモードで電波状態が良くない

近くの無線 LAN グループと、チャンネルを 5 つ以上離してください。

無線通信の送信速度が遅い

処置 1)

隠れ端末による通信の妨害が起こらない程度に、隠れ端末処理設定のしきい値を大きくしてください。

処置 2)

通信条件が悪い環境の場合は、フラグメントしきい値の設定を低くしてください。

処置 3)

通信環境に応じて送信速度を上げてください。ただし送信速度を上げると通信可能な距離は短くなります。

ローミングができない

アクセスポイント密度の設定を変更してみてください。

「旧バージョンの TMNet WinConfig が見つかりました。旧バージョンを削除してから TMNet WinConfig Ver.3 のセットアップを再度実行してください。」というメッセージが表示されインストールできない

TMNet WinConfig Ver.1.00、TMNet WinConfig Ver.2.00 がすでにインストールされている場合、本ツールはインストールできません。これらのツールをアンインストールしてから、再度インストールを実行してください。

「コンピューターを保護するため、このプログラムの機能の一部が Windows ファイアウォールでブロックされています。機能を利用するためには、Windows ファイアウォールの例外登録をした上で、TMNet WinConfig を再起動する必要があります。例外登録の方法についてはユーザーズガイドをご確認ください。」というメッセージが表示されプリンターが検索されない

以下の手順に従って、Windows ファイアウォールの例外登録／登録状況確認を行ってください。

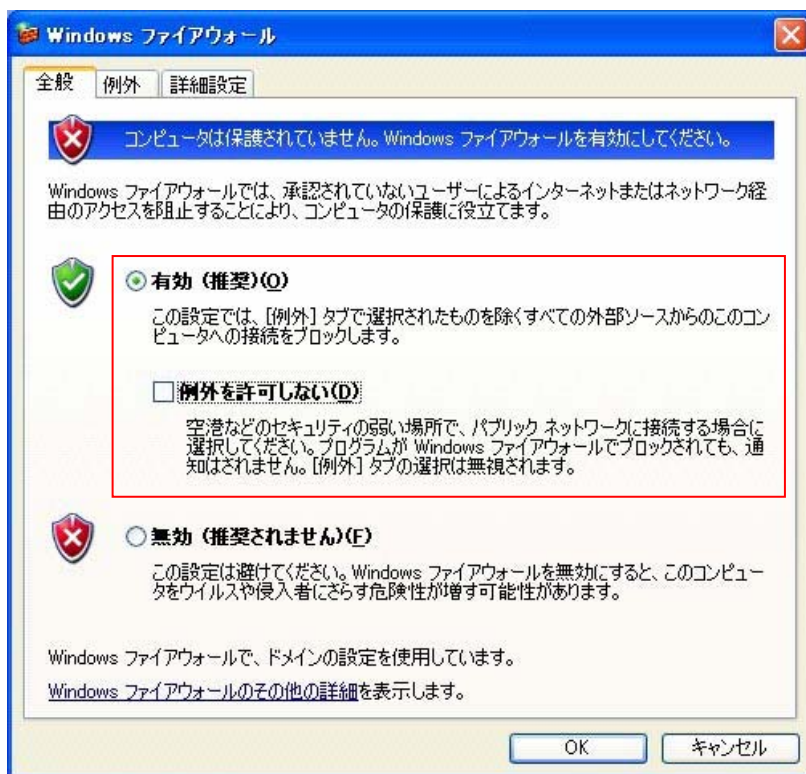
1. [Windows ファイアウォール] 画面を表示させます。

Windows XP の場合： [コントロールパネル] – [Windows ファイアウォール]

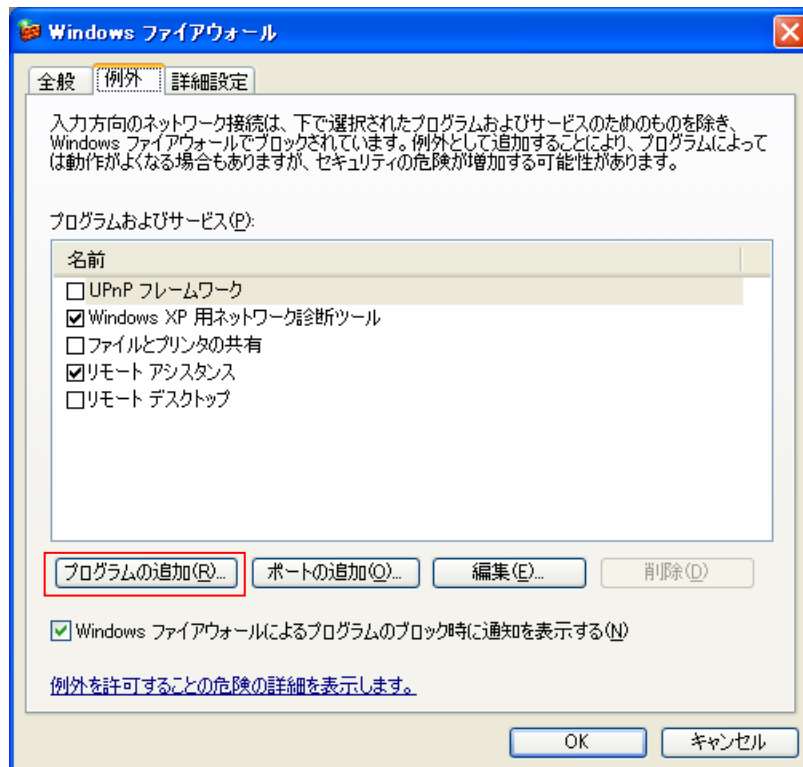
Windows Vista の場合： [コントロールパネル] – [セキュリティ] – [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可]

Windows 7 の場合： [コントロールパネル] – [システムとセキュリティ] – [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可]

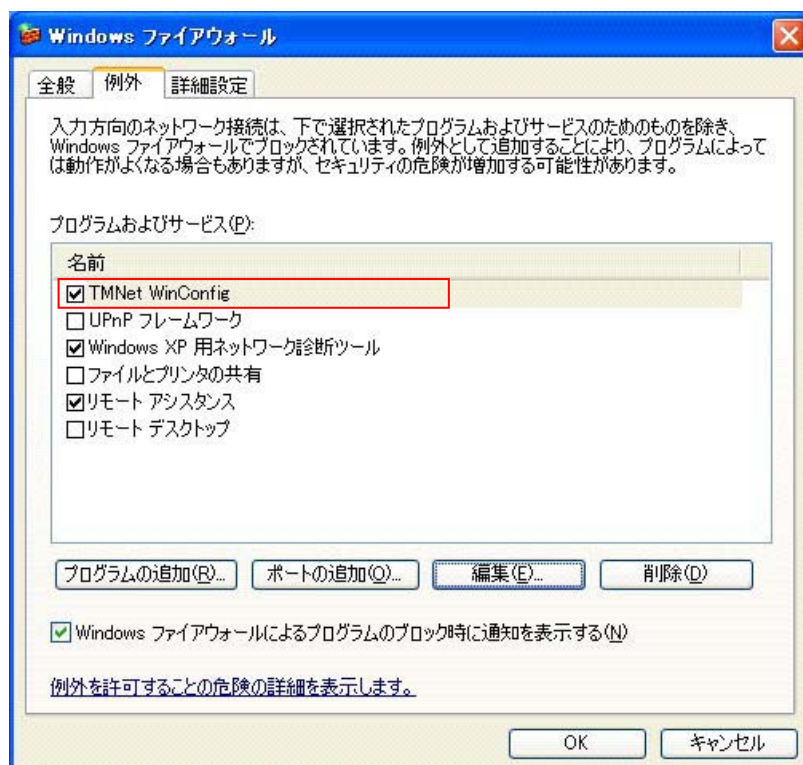
2. [全般] タブで、Windows ファイアウォールが[有効] に設定され、[例外を許可しない] にチェックが入っていないことを確認します。チェックが入っている場合は、チェックボックスのチェックを外します。



3. [例外]タブを開き、プログラムのリストに「TMNet WinConfig」があるかどうか確認します。
「TMNet WinConfig」がない場合、[プログラムの追加] ボタンをクリックして、TMNet WinConfig を追加します。



4. リスト内の「TMNet WinConfig」にチェックが入っていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。



5. TMNet WinConfig を再起動します。